

第39回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子】 準決勝 F球場 第4試合

仁淀川町立池川・仁淀中(高知県) 7-0 東大阪市立花園中(大阪府)



〈池川・仁淀中 無失点の西森潤投手〉



〈花園中 粘りの攻撃を見せる〉

平成29年8月19日(土)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
花園中(大阪府)	0	0	0	0	0					0
池川・仁淀中(高知県)	3	0	1	3	X					7

【バッテリー】 〈先攻〉山上 強 - 多木 陽平

〈後攻〉西森 潤 - 西森 基

【長 打】 〈本塁打〉

〈三塁打〉

〈二塁打〉

【戦 評】

1回裏、池川・仁淀中は1番西森基が四球で出塁すると、2番堀本のセーフティーバントが内野安打となり好機をつかむ。3番片岡がバントで送り、一死2、3塁の場面で、4番西森潤の内野安打で1点先取する。その後も、谷口のセンター前ヒット、福原のスライズで2点追加し、3-0でリードする。3回裏、3番片岡、4番西森潤が連続ヒットで出塁。その後、5番谷口も四球で出塁すると、6番福原の打球がセンターに転がっている間に片岡がホームイン。1点追加する。4回裏も内野安打、相手のエラー、犠牲フライなどで3点追加。5回表を0点で抑え、池川・仁淀中が勝利し、決勝へと駒を進めた。花園中も笹谷のガッツあるプレーでチームを盛り上げるが、池川・仁淀中、西森潤投手に抑えられ、打線を爆発させることができなかった。

【勝者インタビュー】

監督談

初回の攻撃で打線がつながり、得点できたことで、試合の流れを掴むことができた。守備面もピッチャーが踏ん張り、みんなで集中することで、固い守備を見せることができた。日頃からお互いに切磋琢磨しあう相手ということもあり、良い雰囲気の中で戦うことができた。相手に感謝したい。決勝戦は挑戦者のつもりで、全てを出し切り優勝を掴みたい。

主将談

攻撃面では、1回と4回に先頭打者が出塁し、得点に結びつけることができてよかった。守備面では、ピンチの場面もあったが、ピッチャーもよく踏ん張り、内野で抑え、得点されなかったのがよかった。チームの雰囲気としては、相手に促されて自分たちも盛り上がることもできた。決勝戦は全ての力を出し切り、これまでの対戦相手の分まで優勝目指して頑張りたい。

感動！夢舞台！！ 絆を繋げ 九州の地で！